

いもるも南 だより

発行所 南るもい農業協同組合 0164(代)42-1122
発行責任者 管理部
印刷 白鷗印刷株式会社

12月号

No.179



南るもい輪作研究会設立総会 乾田直播・無代かき栽培勉強会

理事会だより

(第九回理事会・十一月二十二日開催)

左記について報告・協議されました。
報告事項

- (一) 十月末財務並びに事業実績報告について
- (二) 組合員の異動状況について
- (三) 平成二十八年産米集荷状況について
- (四) 平成二十八年産農畜産物出荷状況について
- (五) 地区別懇談会の開催について
- (六) コンプライアンス事故報告概要について
- (七) 反社会的勢力との取引排除および組織犯罪等の防止にかかる対応状況の報告について
- (八) 内部監査報告について

議決事項

- 議案第一号 平成二十八年産大豆概算払いについて
- 議案第二号 平成二十九年産農業振興関係料率について
- 議案第三号 固定資産の取得について
- 議案第四号 役員推薦会議運営要領の一部改正について

監事会

(第九回 十一月十八日開催)

議決事項

- 議案第一号 第三回定期監査報告書の取り纏め、及び、理事会報告事項の協議について
- 議案第二号 内部監査指摘事項に係る措置状況報告書の協議について

(第三回定期監査の実施)

十一月十四・十五・十六日の三日間

南るもい輪作研究会設立総会 乾田直播・無代かき栽培勉強会の開催

11月21日午後1時30分よりAコープ留萌ルピナス店2階会議室において、『南るもい輪作研究会』設立総会が開催されました。

当日は研究会加入意向の水稻生産者(小平地区・増毛地区・留萌地区)12戸(16名)並びに立会人として南るもい農業協同組合橋村組合長、行政機関より小平町・増毛町・留萌市、関係機関として留萌農業改良普及センター南留萌支所、留萌地区農業共済組合南部支所・ホクレン農業協同組合連合会留萌支所から出席を頂いての開催となりました。

協議事項として研究会設立の目的及び規約について関係機関・関係団体と緊密な関係を構築し乾田直播・無代かき栽培を実践・導入・情報の共有化を図りながら、南るもい地区の水稻の省力化技術及び畑作物の適正輪作体系を将来へ継承することについて協議され可決されました。その後、規約に基づき総会出席者の中より小平町平和地区の山崎政敏氏が会長に指名され、役員承認及び事業計画と議案が続き、出席者全員の賛成により可決されました。

設立総会終了後、乾田直播等の移植栽培と異なる栽培方法による新米の食べ比べが行われた後、株式会社スガノ農機より乾田直播等の先進地及び当地区

における事例紹介を交えながらの講習会、留萌農業改良普及センター南留萌支所より今年度の当地区における直播栽培・無代かき栽培の実績報告及び実際に取り組みされた方々との意見交換会等が行われました。

意見交換会の中では当地区における農業の5年先を見通した中での継承していくべき将来像についての御意見や、乾田直播・無代かきを自分で行った体験者から実際にやってみての良かった点や、現場段階ならではの改良点等、実体験に基づいた率直な意見交換が行われ、研究会の今後の事業方針・方向性をより具体的に示唆するご意見もあり、研究会の今後の活動に注目が集まる事となりました。

今後も当研究会として、水稻部会・畑作部会及び関係団体と共により一層の連携、協力、情報提供・共有化を図るとともに賛同頂ける生産者皆様の加入を随時お待ちしております。

会長	山崎 政敏 氏	小平
副会長	近江 基輝 氏	小平
会計	中尾 淳 氏	留萌
監事	長岡 翼 氏	小平
監事	吉本 秀樹 氏	小平

※役職順

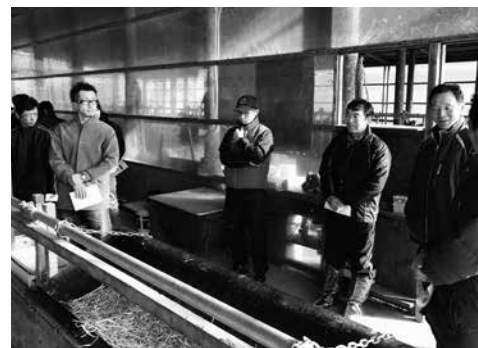
小平町和牛生産改良組合 視察研修

11月16日～17日 新ひだか町三石と雪印種苗での視察研修を実施いたしました。

初日は、三石の畑端牧場への視察を行い、雪印種苗のエサを使って肥育の共励会等では数々の賞を受賞している、畑端牧場での育成から肥育に至るまでの管理技術を勉強しました。

またその夜は、「小平和牛」が唯一食べられる「ひし丸」すすきの店で宴会を行い、小平和牛を堪能致しました。

次の日には、雪印種苗で今後の和牛の動向や、全道での和牛の飼育方法の事例など多岐にわたる研修を受け、2日間とも充実した研修になりました。



青年部全道大会兼視察研修



12月1日(木)・2日(金)の2日間、札幌市・岩見沢市にて全道JA青年部大会兼視察研修を実施いたしました。

全道JA青年部大会では、「純農Boy北海道オーディション」及び「動画で発信! 農の魅力コンテスト」に留萌地区代表として出場し、後者はJA北海道女性協議会長賞を受賞いたしました。

また、1日目午前中に札幌市にて札幌市環境局の篠路破碎工場を訪問し、バイオコークスの製造設備を視察いたしました。粉殻からバイオコークスが製造される光景を見ながら説明を受け、先端技術について知識を深める事ができました。

2日目午後にはJAいわみざわ地域農業振興センターにて農事組合法人設立支援に関する講義を受け、農事組合法人アグリプロ未来の中西代表理事より様々なお話を聞かせていただき、活発な意見交換がなされる等、非常に有意義な研修となりました。

南るもい農協女性部 新米試食会・3地区集合研修

南るもい農協女性部(高野幸子部長)は11月17日(木)に新米試食会・3地区集合研修を9:30より留萌農業会館で開催し、各支部から部員26名が参加しました。

はじめに3地区集合研修の第一部として、「家の光」8月号に掲載された「ちぎり和紙のくまモンうちわ」を作成しました。2時間ほど作業を行い、色々な形のくまモンうちわが出来上がりました。この「ちぎり和紙のくまモンうちわ」は熊本地震復興支援運動の一環で、代金の一部は熊本地震被災地へ募金されます。

11:30からは新米試食会を行い、南るもい産の品種・栽培方法の異なる5種類を食べ比べ《移植ななつ

ぼし》を基準に色やつやなど5項目にわたり評価をしました。試食の総合評価で、移植ゆめぴりか→湛水直播ゆめぴりか→乾田直播ほしまる→無代掻きゆめぴりかの順となりました。移植ななつぼしを基準としても遜色ない高評価となりました。

3地区集合研修の第二部ではホクレン本所農業機械課より講師を招き、農作業事故防止講習を行いました。実際に起きた農作業事故の例をあげながら、農作業中の服装や正しい機械の扱い方を学び、大変有意義な研修となりました。



平成28年産水稲の作付面積及び予想収穫量(10月15日現在)

農林水産省は、10月15日現在の平成27年産米(水稲)の作柄状況を10月28日発表しました。同省によると北海道の今年の作付面積(子実用)は10万5千ヘクタールで、前年産に比べ2千8百ヘクタールの減少となった。予想収穫量(主食用)は、54万5千5百トンと公表され、道内各地域の作況指数は、留萌・オホーツク・十勝が108、石狩が103、上川・北空知・南

空知が102、後志・日高が101、胆振が100、渡島が99、檜山が98となっており北海道の作況指数は102が見込まれると発表した。

全国では、北陸が107、東北が103、近畿・東海・四国・中国が102、関東・東山・九州が101、沖縄が94となっており全国の作況指数は103となりました。

11月30日現在集荷数量(主食用・備蓄用・加工用・新規需要米)

地区	数量(俵)	品種別数量(俵)							
		ほしのゆめ	きらら397	ななつぼし	ゆめぴりか	おぼろづき	きたくりん	ゆきさやか	その他
小平地区	94,863.5	12.0	374.0	70,524.5	23,003.5	243.5	106.0	387.5	212.5
幌糠地区	32,845.5			21,020.0	10,531.5	24.5	817.5	227.0	225
増毛地区	18,462.5			10,206.5	6,461.0			129.0	1,666
合計	146,171.5	12.0	374.0	101,751.0	39,996.0	268.0	923.5	743.5	2,103.5

特定米穀(麻袋・PP袋)

地区	数量(俵)
小平地区	6,511
幌糠地区	2,268
増毛地区	1,482
合計	10,261



留萌地区組合員交流会終える

今年で4回目となる留萌地区の組合員(営農団体構成員、水稲・畑作・野菜・畜産部会、青年部員、後継者)を対象とした交流会を、11月25日午後5時30分よりホテル神居岩にて開催されました。

今回の交流会参加者は組合員24名と、農業関係団体及びJA職員30名の計54名による交流会となりました。

橋村組合長より、日頃より農協事業の利用に対し組

合員に感謝を述べ開会となり、丸瀬理事の乾杯、歓談しながら途中ビンゴゲームも行い留萌市農林水産課 堤課長による締め挨拶で概ね2時間の交流会は盛会のうちに終了しました。

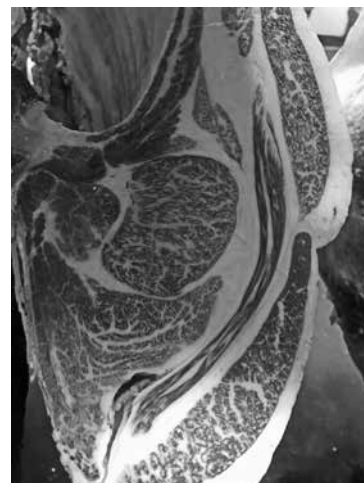
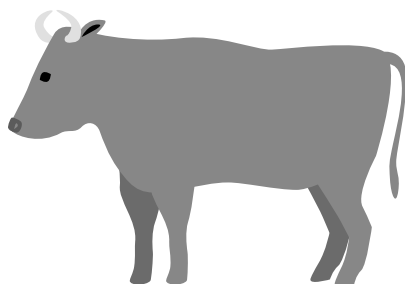
参加頂きました組合員の皆様ありがとうございました。また来年度も関係機関を含め交流を深めたく多数の参加をお願いします。

北海道枝肉共励会

12月3日(土)、帯広市にあります北海道畜産公社 道東事業所十勝工場にて平成28年北海道枝肉共励会が開催され、小平地区より3頭の出品がありました。

全道より選び抜かれた103頭の肥育牛で全道一を決める大会で、小平和牛「A5 2頭」「A4 1頭」と3頭とも上物等級ではありましたが、入賞にはいたらず残念でありました。

又、来年挑戦し全道一を奪還してほしいと思います。



年末年始の営業時間について

事業所名	平成28年12月				平成29年1月					
	28日(水)	29日(木)	30日(金)	31日(土)	1日(日)	2日(月)	3日(火)	4日(水)	5日(木)	6日(金)
管 理 部	通常営業	通常営業	通常営業	休業	休業	休業	休業	通常営業	通常営業	通常営業
金 融 共 済 部										
農 業 振 興 部										
購 買 部	通常営業	通常営業	通常営業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	通常営業
小平整備工場										
小 平 支 所	通常営業	通常営業	通常営業	休業	休業	休業	休業	通常営業	通常営業	通常営業
増 毛 支 所	通常営業	通常営業	通常営業	休業	休業	休業	休業	金融共済部門のみ通常営業	金融共済部門のみ通常営業	通常営業
幌 糠 支 所	通常営業	通常営業	通常営業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	通常営業
幌糠整備工場										
Aコープピナス	通常営業	通常営業	通常営業	午後3時まで営業	休業	休業	休業	通常営業	通常営業	通常営業
Aコープおびら店	通常営業	通常営業	通常営業	正午まで営業	休業	休業	休業	通常営業	通常営業	通常営業
ホクレン留萌給油所	通常営業	通常営業	通常営業	午後3時まで営業	休業	午前9時より正午まで営業	午前9時より正午まで営業	通常営業	通常営業	通常営業